

第3回横浜市立市民病院市民委員会資料一式

- 1 第3回横浜市立市民病院市民委員会 次第
- 2 横浜市立市民病院市民委員会委員名簿
- 3 横浜市立市民病院市民委員会 席次表
- 4 第3回横浜市立市民病院市民委員会資料

第3回横浜市立市民病院市民委員会 次第

平成17年11月16日（水）

19時から

がん検診センター大会議室

- 1 開会
- 2 病院長挨拶
- 3 市民委員会 出席委員紹介
- 4 委員長挨拶
- 5 議事
 - (1)横浜市立市民病院の経営改革計画の取り組み状況について
 - (2)その他
- 6 閉会

平成17年11月

横浜市立市民病院市民委員会委員名簿

(敬称略・50音順)

氏名	役職等
井澤豊春	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院院長
伊藤美紀子	保土ヶ谷区保健活動推進委員会区副会長
尾崎亮	おぎき小児科院長
高井佳江子	弁護士
田島良一	市民病院ガイドボランティア
田中政一	神奈川県三ツ沢連合自治会町内会連絡協議会会長
武宮省治	神奈川県立がんセンター所長
矢作恒雄	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科教授
山内精子	済生会かながわ訪問看護ステーション管理者
吉田正	保土ヶ谷区医師会長

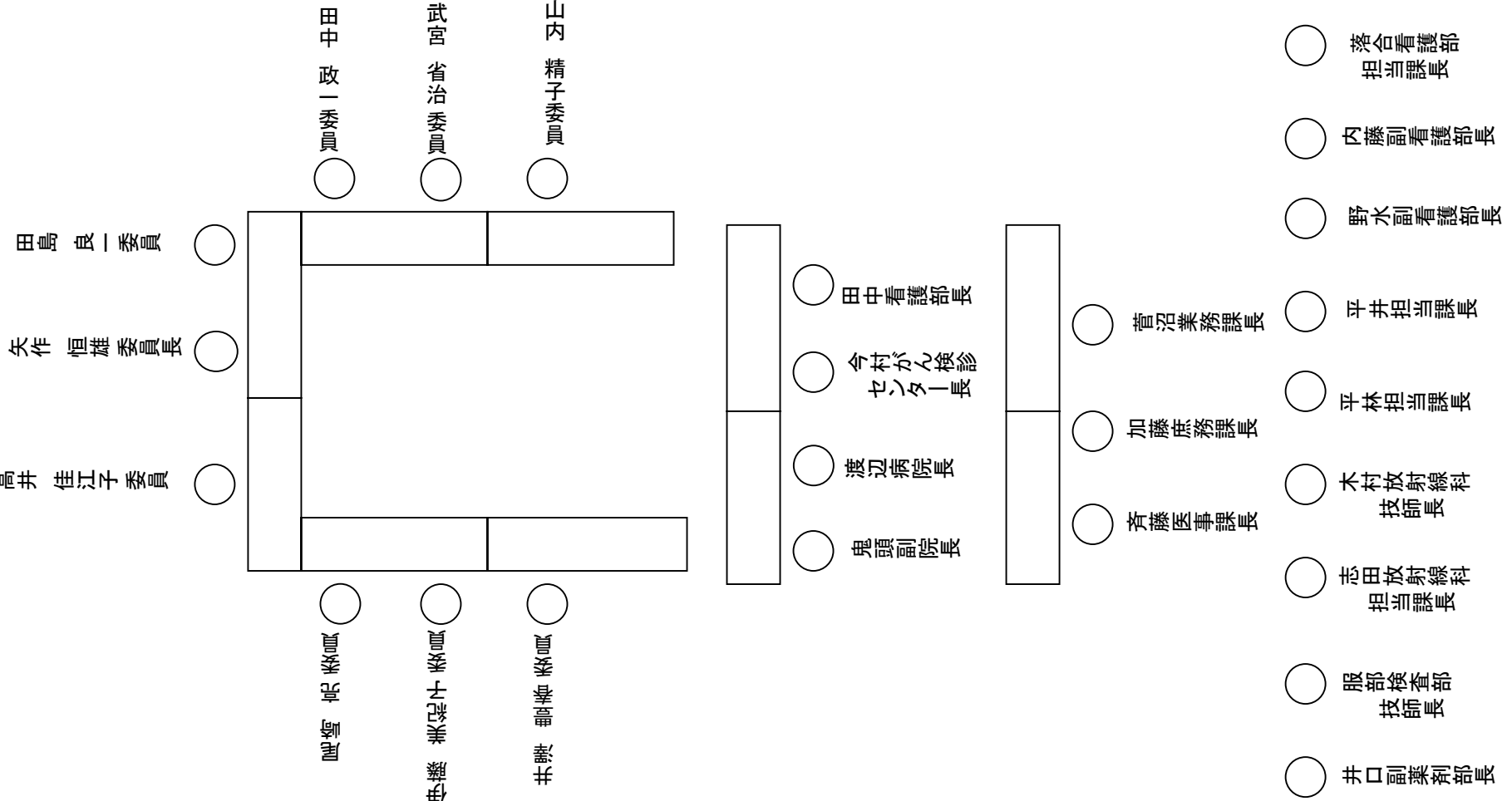
横浜市立市民病院市民委員会 席次表

H17.11.16

がん検診センター大会議室

出入口

出入口



傍 聴 席

第3回横浜市立市民病院 市民委員会資料

内容

- 1 横浜市立市民病院の経営改革計画の取り組み状況について
- 2 その他

平成17年11月16日

がん検診センター大会議室

目次

横浜市立市民病院の経営改革計画

の取り組み状況について

1

その他

横浜市立市民病院経営改革計画

市民立病院の取り組み状況

取組項目	担当	内容	スケジュール				17年度行動計画	進捗状況(10月末)	
			17年度	18年度	19年度	20年度			
1 第一種感染症指定医療機関の指定	市民	SARS、ペスト、天然痘などの1類感染症に対応する第一種感染症の指定を受ける。(16年度指定済み)	16年度指定	—	—	—	日頃から職員トレーニング等を実施し、感染症の発生に備えるとともに感染症に関する情報収集を行う。	1類感染症対策訓練を計画中。情報収集は随時実施中	
2 地域がん診療拠点病院の指定など、がん診療機能の強化	地域がん診療拠点病院の指定	市民	地域全体におけるがん医療水準の行をを図る病院として指定を受ける。	指定	—	—	—	神奈川県と連絡調整を密にし、早期に指定を受ける。	神奈川県と調整中
	施設・設備の充実	市民	内視鏡センター・外来化学療法センター等を整備し、がん治療機能の向上を図る。	段階的な施設の充実	→	→	→	年度内に内視鏡センター、外来化学療法センターをオープンさせる。	5月に着工し、現在工事中
	がん治療チームの編成	市民	診療科の枠を超えた横断的なチームで総合的かつ集中的に治療を行うチームを編成する。	検討	→	がん治療チーム編成	—	機能・体制等を検討する。	検討中
	緩和ケア病棟の整備検討	市民	緩和ケア病棟を整備し、検診・治療・終末期ケア等一連の医療を提供する。	検討	整備	開設	—	施設の条件、整備方法等について検討する。	他の改修計画とあわせ、容積率等について検討中
3 市民の健康危機への対応に必要な情報の平時からの積極的な提供	市民 脳血管 みなと	市民	感染症等に関して、市民や医療機関が必要な情報を提供する。	検討	実施	→	→	提供する情報等について検討する。	後半期に取り組む予定
4 専門の患者総合相談窓口の設置	市民 脳血管 みなと	市民	患者が各種の相談や病院に対する苦情等の申し出を行いやすくするための窓口を設置する。	検討	設置	—	—	必要な機能等について検討する。	検討中
5 オカレンス報告の導入による報告制度の充実	市民 脳血管	市民	インシデント報告とともに報告制度の充実を図り、リスク情報を的確に把握し、安全管理の徹底を図る。	実施	→	→	→	実施	報告書様式、報告体制等について安全管理対策委員会等で検討中
6 インフォームドコンセントの充実	市民 脳血管	市民	診療のあらゆる場面で徹底する。	実施	→	→	→	診療のあらゆる場面で徹底する。	診療のあらゆる場面で徹底する。
7 地域医療支援病院の施設認定取得	市民	市民	病診連携・病病連携に取組み、地域における医療連携の中心的役割を果たす。	紹介率向上等の取組	施設認定取得	—	—	紹介率、逆紹介率の向上を図る。	予約センター及びかかりつけ医案内コーナーを開設。4～8月紹介率50.3%、逆紹介率47.5%
8 本市がん検診事業全体の精度管理、市民や地域医療機関等への情報提供	市民	市民	市全体のがん検診データの収集・分析とデータベース化を進め、必要な情報を地域医療機関等へ提供する。	検討	精度管理の実施	情報提供の実施	→	実施体制、実施方法等を検討する。	衛生局と神奈川県予防医学協会と調整を行っている。
9 市民講座等の開催、保健行政との連携のもとでの疾病予防・健康づくり活動の展開	市民 脳血管 みなと	市民	がん予防に関する市民講座を開催し、市民の意識啓発を図る。	検討	実施	→	→	市民講座を年1回開催する。	第2回市民公開講座を11月5日に開催予定
10 医師臨床研修後期研修(仮称)の整備・実施	市民	市民	意欲のある医師を育成するため、カリキュラムや研修内容等の充実を図る。	整備実施	→	→	→	カリキュラムや研修内容等の充実を図る。	募集要領を作成し、応募を開始した。
11 市立病院に関するより分かりやすい充実した情報の提供	市民 脳血管 みなと	市民	病院経営に関する情報、医師の専門分野等市民が医療機関を選択する際に参考となる情報を提供する。	実施	→	→	→	ホームページの充実を図る。	常に新鮮な情報を提供するよう、随時内容の見直しを行っている。
12 市立病院の運営を支援する「市民委員会(仮称)」の設置	市民 脳血管 みなと	市民	病院運営に市民の声を反映させ、病院が提供する医療・サービスの質を向上させる。	16年度設置	—	—	—	年3回開催し、出された意見等を病院運営に反映させる。	第2回目を8月4日に開催。第3回目は11月16日に開催予定
13 財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の受審、結果公表及び認定の取得	市民 脳血管 みなと	市民	認定を取得する。	順次受審・結果公表	→	→	全市立病院認定取得	認定を取得	5月に認定取得。各方面にアピールするとともに、更なるレベルアップを図る。

取組項目	担当	内容	スケジュール				17年度行動計画	進捗状況(10月末)	
			17年度	18年度	19年度	20年度			
14 多床室の改修(6床室→4床室)によるアメニティー、サービス及び安全管理の向上	市民	入院患者のアメニティーやサービス及び安全管理の向上を図るため6床室を4床室へ改修する。	検討	→	改修・段階的移行	→	他の施設改修計画と合わせ、設備面・経営面から検討する。	病院の稼動状況、療養環境等の面から検討中	
15 在宅療養支援機能を担う専門の部署の設置	市民	地域の医療機関等と連携し、患者・家族の在宅療養を支援するための部署を設置する。	検討	→	設置	→	必要な機能等について検討する。	検討中	
16 クリニカルパス(入院診療計画書)の作成・活用の拡大	市民	インフォームドコンセント及びチーム医療の充実を図ること、及び診療報酬の包括化に対応するため適用範囲を拡大する。	実施	→	→	→	作成・活用を推進する。	クリニカルパスの部会を中心に推進を図っている。	
17 専門・特殊外来の充実、外来診療の初診原則紹介・予約制の実施	市民	他病院との差異化を図るとともに、地域医療機関との連携を促進する。	検討	専門外来等の充実	紹介予約制一部実施	段階的充実	必要な機能、システム等を検討する。	セカンドオピニオン外来開設について検討中。紹介患者に対する予約センターを開設	
18 プライマリケアを重視した初期診療等を行う総合診療外来の整備	市民	非紹介患者等に対して適切で効率的な医療を提供する。	検討	施設整備	開設	→	必要な機能、システム等を検討する。	検討中	
19 地域に必要とされる救急医療の充実	市民	これまで内科・小児科・外科を中心として取り組んできた実績を踏まえ、適用症例の拡大を図る。	内容等検討	段階的充実	→	→	必要な機能、システム等を検討する。	10月から整形外科当直を開始	
20 がん検診センターの経営の健全化と新たな検診方法の導入	センターの経営の健全化	市民	一次検診事業は市からの委託事業として実施し、センター独自の検診項目については受益者負担の見直しを行う。	実施	→	→	→	一次検診事業は市からの委託事業として実施し、センター独自の検診項目については受益者負担の見直しを行う。	17年4月から委託事業化や受益者負担見直しを実施した。
	新たな検診方法の導入	市民	ヘリカルCTによる肺がん検診など先駆的な検診方法を導入する。	検討	導入	→	→	新たな検診方法を検討する。	センター内部で検討中
21 医療環境にふさわしい質の高いサービスの提供	市民	リハビリ訓練室の移設拡充、売店の移設拡充等を行う。	検討	段階的実施	→	→	工事に着手する。	工事中	
22 入院患者の在院日数の短縮	市民	20年度までに14日未満に短縮する。	20年度までに14.0日未満に短縮			各診療過程の効率化を検討する。病病連携の促進。	連携できる病院を訪問中		
23 診療報酬包括評価の導入	市民	今後拡大が予想される診療報酬包括評価の導入を図る。	検討	→	準備	導入	導入に備え、関係する院内システムの調査等を行う。	他病院調査等を行い、導入にあたっての情報を入手。	
24 査定率の縮減	市民	20年度までに0.3%に縮減する。	20年度までに0.3%に縮減			医師への情報提供や医事担当職員への教育徹底を図る。	4～6月実績0.67%。保険委員会の毎月開催し、診療科との連携を強化		
25 未収金の縮減	市民	20年度までに15%削減する。	20年度までに15%削減			未収金を発生させない予防策の充実を図る。	7月より休日退院事前会計を実施		
26 各種医業外収益の向上	職員宿舍本人負担の適正化	市民	医業外収益の向上に取り組む。	実施	→	→	→	適正な負担額を検討する。	検討中
	保育所利用料の適正化	市民	同上	実施	→	→	→	同上	検討中
	職員駐車場の適正化	市民	同上	実施	→	→	→	同上	検討中
27 柔軟で効率的な勤務体制の検討	市民	多様な勤務時間を設定することで、職員配置の適正化及び人件費の縮減を図る。	検討	実施	→	→	検討を進め、可能な職場から導入していく。	栄養係の遅番勤務を導入	
28 より効率的な物品管理供給システムの導入	市民	購入から払出までの一連の手続きの効率化を進め、材料費等の縮減を図る。	一部導入済検討	→	導入	→	システム改善の検討を進める。	購入から払出までの一連の作業を委託した場合の情報収集等を実施した。	
29 委託料の縮減	市民	仕様の見直し、入札・価格交渉等を徹底し縮減を図る。	実施	→	→	→	仕様の見直し、入札・価格交渉を徹底し縮減を図る。	7月からの医事委託業務について、入院と外来業務を分離して入札を実施した。	
30 光熱水費の縮減	市民	毎年前年度比1.5%縮減を目指す。	前年度比1.5%削減			こまめな運用で縮減を進める。	冷房温度28度以上の徹底等日々取り組んでいる。		
31 各部署の執行体制の見直し、適正化	市民	他病院を参考に各部署の執行体制を見直す。	検討実施	→	→	→	他病院を参考に各部署の執行体制を見直す。	検討中	
32 ISO14001の取得	市民	環境負荷軽減のための取組み事項が規定されたISO14001を取得する。	検討準備	受審取得	→	→	準備作業を行い、受審に備える。	事前調査及び内部監査の準備を行っている。	